新宿 Let's協働

新宿はもっと、おもしろくなる！

2014年
2月発行
Vol.2

新宿区協働事業提案制度による平成25年度実施事業のご紹介

Contents

事業②街角スポット活用事業 P.2
区民ルポ　NPO、ボランティア団体必見!! P.5
こんなに便利な新宿NPO協働推進センター
よくわかる！「協働事業提案制度」とは？ P.8

区民の暮らしを支援するため新宿区と市民活動団体が力を出し合って行う「協働事業」を紹介します。

※Vol.2では、平成25年度に実施している2事業のうち1事業を紹介しています。残り1事業は、2013年12月発行のNo.1に掲載しています。

いつもの景色が劇場（ステージ）になる

ある日の東京オペラシティのアトリウム。中央に置かれたグランドピアノのまわりには、たくさんの人が集まり、ピアノや尺八の調べに聴き入っています。ここは、普段のオフィスビルのがらんとした一角。それがこんなに素敵なライブ会場に。
通路・広場をちょっとした工夫をしてステージにしてしまう。それが、とっておき「街角スポット活用事業」です。

誰もが気軽に楽しめるステージを作る

「街角スポット活用事業」は、新宿区からの課題提起「公共的空間を活用した文化芸術振興の取り組みと地域の活性化」に応える形で、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会（以下芸団協）により協働事業に提案され、昨年度から実施されたものです。昨年度に引き続き、現在2年目の活動が進行しています。

東京オペラシティのライブでは、悪天候にも関わらず、親子連れから高齢の方々まで大勢の観客が集まりました。事業の目標通り幅広い年齢層で、しかもふだん生演奏をあまり聴く機会のない方々が観客です。聞けば施設管理者の方も地域イベントとして定着させたいという意志のもと、事前にチラシを3万部作成し、新聞の折り込みとして配布されていたそうです。

乳幼児を持つ親や子どもは、コンサートホールなどの場に入る機会はなかなかありません。演奏者は子ども向けの曲も取り入れ、自らも楽しんでいる。幼子を抱っこしている母親は、体でリズムを取って楽しそうでした。

設立から48年間という歴史ある芸団協。たくさんの経験を積んで得たネットワークからの質の高い人材の豊かさと、プロとしてのこだわりを感じる演奏会でした。

地域からのヒアリングが2年目の成功へ導く

昨年度の主な活動は、今年度の運用へ向けての調査研究とパイロットプログラムの実施でした。

区内の主な芸術団体、商店会、施設に利用登録している文化芸術活動団体を対象にアンケートを実施し、活用できそうな場所や、どういうイベントがあるとよいかなどの検討を行いました。また、個別に利用の条件などをヒアリングしました。実演家には、会場条件やイベント実施にあたっての留意点などを挙げてもらいました。

その上で昨年度は、11月に新宿三井ビルロビーで「津軽三味線和×洋」、12月にフラッグス1階エントランスで「クリスマスライブ」を、2月に新宿アイランドタワーパティオで「ランチタイムアコースティックミニコンサート」、3月に白銀公園で「神楽坂ダンスでいっ！」と計4回のパイロットプログラムを実施し、いずれも好評を博しました。

白銀公園のときは、地元の方から「子どもたちは朝から遊んでいるから午前中の方が動きやすい。遅くなるとみんな帰っちゃうよ」と助言がありました。当初イメージとして午前中の企画は考えていませんでしたが、この助言を取り入れ、午前から開催したことで大勢の子どもたちが集まる結果になりました。

「ヒアリングを重ねてこそいいイベントができる」と芸団協の宮川祐文さんは話します。

区も地域とのヒアリングをサポートし、アンケートも事前に共有しているそうです。区の立場・芸団協の立場を互いに尊重し、最適なパートナーとして信頼関係の中で事業を創り上げている様子がうかがえます。

「これからも様々な文化芸術を、広く区民にも提供していきたい。区外の方にも新宿区に来ていただき、新宿の魅力を知ってもらうきっかけになってほしい」と、新宿区地域文化部文化観光課文化観光係長の菊地加奈江さん。

イベント運営の実際と今後の展望

今年度はさらに、昨年度実施していない場所の発掘を目指し、プログラム実施に向けての

街角スポット活用事業

主な事業内容

1. 文化芸術の鑑賞・参加・創造の場として活用可能な駅前、ひろば、ロビー、壁面、河川等の公共的空間を、「街角スポット」候補地としてリストアップ
2. 候補地が、「街角スポット」として活用可能かどうかの調査・整理
3. 「街角スポット」を利用したいアーティストへの情報発信
4. 「街角スポット」の周知と、アーティストとのコーディネート

ねらい

1. 活動の場を広く求めているアーティストや区民の発表の場を広げること。
2. 区民や来街者が芸術に触れる機会を増やすこと。
3. 施設の有効活用。

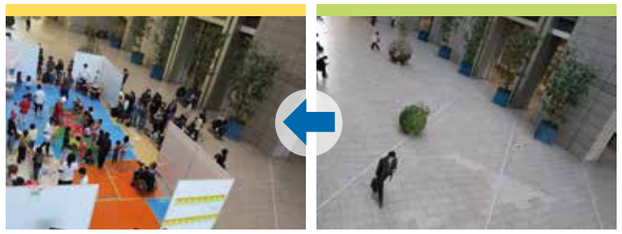
After　Before

京王新宿駅

普段は足早に人の行き交う京王電鉄新宿駅西口ひろばも和みの空間に。5月に行われたフルートとピアノの「駅中コンサート」では、延べ約300名の人が訪れました。

赤城神社

広々とした明るさが印象的な赤城神社神楽殿。ここで10月に行われた「神楽坂de箏しらべ」。同日開かれたあかぎマルシェの買い物客らも足を止めていました。



新宿パークタワー

新宿パークタワーアトリウムで1月に行われた「でっかいアートをつくろう！」。都心の高層ビルの一角で、子どもたちは元気に遊ぶ。どんな作品ができたかな？

調整や、新規ヒアリングを行った上で5プログラムが企画されています。

既に、5月に行われた「新宿駅中コンサート」は、京王電鉄一〇〇周年行事と連携して開催されました。

京王線新宿駅西口は、ふだんでも多くの人が行き交う所。駅の構内放送や歩行者の妨げになるのでは、と駅で働く方々には抵抗があったといいます。そこでヒアリングを重ね、比較的人の少ない時間帯を設定しました。限られたスペースではありますが椅子を並べステージになりました。観客から「心が落ち着いた」「定期的に開催してほしい」との声があったばかりでなく、施設管理者や業務をしている人からも、結果としてコンサートをやってよかったと、とても好評だったそうです。

逆に人出を期待して、新宿駅東口の賑やかな新宿通りに面した場所でのイベントも計画しましたが、施設管理者の許可が得られませんでした。週末は特に人出があり、テナント営業の妨げになるだけでなく、安全面でも一般客の障害になるということです。

「区としてはお願いする立場なので、地域の意見を尊重し、安全面も考慮して実施することが大切です。」と、新宿区地域文化部文化観光課文化振興係の楠原裕式さん。

10月に箏の演奏会を実施した赤城神社は「素敵な場所なので、ぜひ使わせていただきたいと早い段階からお願いし、準備期間があったのが良い結果に繋がりました」と芸団協の大井優子さん。街角スポットになりそうな所を探して昨年度から候補に挙がっていたものの、日程の都合が合わず、今年やっと開催できたそうです。地元の宮城会で学ぶ小中学生5人の子どもたちのお箏の演奏会が実現しました。

宮城会側からも「今度またこういう所でやれたらいいな」とのお声をいただき、活動の場のヒントとして捉えていただくこともありました。

来年度以降は芸団協の単独事業となりますが、「文化芸術創造のまち　新宿」を代表するイベントである「新宿フィールドミュージアム」では引き続き区と連携していきます。エリア・場所・イベントの情報提供もウェブサイトにて行っていきます。

イベントを開催したことで施設管理者の理解が得られ、施設側が予算を組んで企画を展開する動きもあるようです。街角での文化芸術活動をより多くの地域に広げていくためには、こうした施設管理者の理解や、地域で活動するアーティスト等の協力を得て、ともに取り組んでいくことが大切です。

今回の事業をきっかけに、日常過ごす街の中で、より多くの区民や来街者が芸術に触れる機会が増えることを期待します。それはいつもの街の新たな魅力の発見に繋がるに違いありません。

（君塚礼子／関口実奈子）

「施設管理者、演者、コーディネーター、全部うまくいってこそひとつの事業が成り立つ」と新宿区の菊地加奈江さん。

「騒音への配慮、子どもや高齢者の安全確保、そして施設管理者の理解を得られることが大切」と芸団協の宮川祐文さん。

「文化芸術創造のまち・新宿を具体化すべく、協働で得た課題や情報を共有したい」と新宿区の楠原裕式さん。

「現場の施設の方としっかりコミュニケーションしたことで事業の幅が広がった」と芸団協の大井優子さん。

【事業名】
街角スポット活用事業

【提案団体名】
公益社団法人　日本芸能実演家団体協議会

【区担当課】
地域文化部文化観光課

【区負担額（予算額）】
4,979千円

【団体紹介】
俳優、歌手、演奏家、舞踊家、演芸家、演出家、舞台監督などの実演家等の団体を正会員（67団体）とする公益法人。芸術文化の発展に寄与することを目的に1965年に設立し、2012年に公益認定を受けました。実演家著作隣接権センター事業及び実演芸術振興事業を行うことで、より豊かな社会づくりに貢献することを目指しています。

【所在地（芸能花伝舎事務所）】
〒160-8374
新宿区西新宿6-12-30
芸能花伝舎2F
TEL　03-5909-3060
FAX　03-5909-3061
URL　http://www.geidankyo.or.jp/
E-mail　kouhou@geidankyo.or.jp

NPO、ボランティア団体必見！

こんなに便利な新宿NPO協働推進センター

区民レポーターが突撃取材!!

平成25年4月にオープンした新宿NPO協働推進センター。ここは、地域を支える社会貢献活動団体のネットワークづくりの活動拠点。各団体や区民のみなさんが、交流の場として利用できるように便利な施設があり、相談や情報提供、講座、交流会など様々な事業を実施しているそうです。オープンしてからまだ1年たっていないピカピカの施設を、区民レポーターたちが突撃取材に行きました！

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-36-12
TEL　03-5386-1315　**FAX**　03-5386-1318
E-mail　hiroba@s-nponet.net
【ACCESS】
JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線
高田馬場駅　徒歩15分
都営バス・関東バス「小滝橋」バス停　徒歩4分

そこは情報コーナー！役立つお知らせがいっぱい

エレベーターを降りると…

ドアを開けると…守衛さんが笑顔でお迎え♪

エントランス

さらに奥へ進むと受付が！

コーヒーは150円です

コーヒーも飲めるのかな？

受付となりのフリースペース！

ちょっとした打ち合わせにも利用できます

社会貢献活動のために利用できる主な貸し施設

会議室は全部で５つ（定員16名～72名）、多目的室は２つ、日曜祝日のみ利用可の多目的グランドもあり。会議はもちろん写真展、上映会、演劇、身体を動かす活動も可能です。（有料）

年間40回の講座、５回の交流会、行ってます！

これまで行われた講座・交流会

- NPO 設立の法制度
- イベント成功の秘訣！
- NPO のための会計講座
- 「PR 感性」の鍛え方
- 交流会「災害復興　その時NPOは何ができる？」

などなど…

施設を運営している「新宿NPOネットワーク協議会」

新宿NPOネットワーク協議会は、新宿NPO協働推進センターの管理運営、NPO活動を紹介するサロンの開催、ふれあいフェスタへの参加など様々な事業を実施しています。

情報共有・相互連携をはかるために、新宿区内にあるNPO法人の集合体として、平成18年7月に設立、平成24年に一般社団法人の法人格を取得。平成26年1月末現在会員数37団体。社会貢献活動団体、NPO、町会、地区協議会、企業、行政などの多様な団体によるネットワークづくりや、各団体の交流・情報交換などを通じて、協働してよりよい活動ができる場づくりを目指しています。

よりよい運営のための定例スタッフミーティング

利用団体に参加してもらい意見を取り入れる事業運営委員会

取材を終えて

行ってみよう！NPOセンター!!

新しくてきれい、貸し施設もかなりの充実感。印刷機やA1ポスターがプリントできる作業室も完備。区民の生活に役立つイベントもたくさん開催されています。ぜひ、みなさん足を運んでみましょう！

区民レポーター 一同

よくわかる!『協働事業提案制度』とは？

⇒ 協働事業提案制度ってなあに？

地域が抱える様々な課題で、かつ、行政だけでは解決が困難な課題について、NPO等と行政の知恵と力で解決するためのしくみです。

⇒ 具体的には……

- 新宿区で活動を行うNPO等の団体が、**事業の提案**をします。
  （区からあらかじめ設定されたテーマに対する提案、自由提案のいずれでも可）
- 学識経験者や区民らによって構成される**審査会が審査**します。
- 採択された**団体は、区と協働**し、該当事業を運営します。
- 事業の経費のうち概ね100万円から330万円までを**新宿区が負担**します。

⇒ 目的は？

- **地域が抱える様々な問題を発見し、解決**します。
- 行政への**区民参加**を促します。
- **地域の活性化**を促します。
- 団体の提供するサービスを利用することで**区民の生活が豊かに**なります。

⇒ 提案事業の条件は？

- ☑ 社会貢献的事業で**地域や社会的課題の解決**に役立つ事業
- ☑ 区民の満足度が高まり、**具体的な効果・成果が期待できる**事業
- ☑ 多くの区民やNPO等への**波及効果が期待でき、継続や拡大が見込まれる**事業
- ☑ 事業を通じて区民の地域活動への**参加意欲の掘り起こし**ができる事業
- ☑ NPO等と区が協働することによって**相乗効果が生じる**事業
- ☑ 明確かつ妥当な**協働の役割分担**で実施できる事業
- ☑ 協働事業を提案するNPO等が実施することが可能である事業
- ☑ 予算の見積もり等が適正である事業

［注］・特定の個人や団体のみが利益を受ける事業、学術的な研究、住民の交流行事等の親睦会的なイベント等は対象外となります。
・上記の内容は平成25年4月1日現在のものです。

事業の流れ

提案募集説明会
前年度事業報告会
（5月中旬～下旬頃）

↓

関係する区担当部署との調整

↓

事業提案書提出
（毎年6月下旬頃まで）

↓

一次審査
（書類選考）

↓

二次審査
（公開プレゼンテーション）

↓

事業化に向けて
担当部署との詳細協議

↓

結果発表

↓

契約・協定書締結

↓

事業実施期間
（翌年4月～3月）

↓

事業の評価

編集後記

◉大都会・新宿も、私たち区民にとっては「生活のまち」。隣人のため献身する人々から刺激を受けると共に、地域への愛着が深まりました。（安藤陽子）

◉無事に仕上がったのも、楽しくできたのも、編集長はじめ新宿区職員の方たち、そして編集委員みんなのおかげです。感謝！レッツ協働！（梅澤陽子）

◉創意工夫を凝らしNPO活動を続ける熱意に、力を感じます。取材・編集に滞ることなく参加をできたことは、その力が背中を押して下さいました。（君塚礼子）

◉NPOの活動とは？　冊子とはこうして作るのか等々発見の連続でした。この冊子が新宿をおもしろくするため少しでもお役に立てば幸いです。（関口美奈子）

◉NPOは、行政と民間の間で重要な任務を担当する役目があり、福祉・医療・環境他の広範囲で専門分野にて活動し、必要不可欠な条件である事を確認できました。（鵜殿裕一）

「Let's 新宿 協働」は、新宿区が行っている「協働事業提案制度」について広く知っていただくために、新宿区民からなる編集委員が、区民目線で、読みやすくわかりやすい読み物を目指して制作しました。編集委員は、市民レポーター養成講座の修了生の中から希望者を募り選ばれたメンバーです。

新宿区協働事業提案制度による平成25年度実施事業のご紹介　「Let's 新宿 協働」　平成26年2月発行
編集・発行／新宿区地域文化部地域調整課　新宿区歌舞伎町1丁目4番1号
TEL.03-5273-3872　E-mail：chiikichosei@city.shinjuku.lg.jp　URL：http://www.city.shinjuku.lg.jp/
印刷・製本／M＆W株式会社　〒160-0022　新宿2-15-28 新宿丸正ビル601　TEL.050-3736-2196
編集人／石井栄子（いしぷろ）　デザイン・DTP／大野佳恵　表紙写真／戸井田夏子　表紙撮影協力／スコップカフェ

印刷制作番号　2013-25-2601

この印刷物は業務委託により3,000部印刷製本しています。その経費として、一部あたり46円（税別）がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。